

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		S46~	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	03 個性あふれる観光のまちづくり
	小項目	施策	01 観光
事務事業名		01	観光推進事業
		根拠法令・例規等	
		問担当課(室)	商工観光課
		職・氏名	観光係長 高橋 幸子
		電話	64-1832(274)
		このシート作成に要した時間	7.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光事業者、観光客
目的(何のために)	観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査については、観光客の動向を調査することにより諸施策への指針として利用するため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光客数の増加

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
観光動態調査事業	岡山県に対し、観光客数の実地調査の報告(関谷学校、岡山県備前陶芸美術館、日生五味の市、八塔寺ふるさと村)176,000円。		
観光宣伝事業	観光素材のPR、広告等。		
目的を達成するために実施した事業	映画、ドラマ、CM等のロケ地の誘致を目的として情報提供を行う。		
観光写真掲出事業	観光客や岡山駅地下道を訪れる人々へのPR、啓発のため、岡山駅地下道に観光コルトンの掲出を行う。		
観光パンフレット等作成事業	観光事業者や観光客に対して観光素材をPRするため観光パンフレットの作成を行う。		
観光看板等整備事業	観光客に対して観光案内を目的として、観光看板の設置管理を行う。		

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費		1,549	928	2,554
	必要人員人件費	千円	0.70人	4,222	0.59人
事業費	事業費		5,771	5,224	8,782
	国県支出金	千円	176	176	176
財源	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他	一般財源		5,595	5,048	8,606
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	観光客数	人	782,174	960,346	924,807
	結果指標量	人	782,174	960,346	924,807
	対前年比	%	-	122.8%	96.3%
	活動コスト	円	5,771,000	5,224,000	8,782,000
単位当たりコスト		7	5	9	

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
観光客数	成果指標名	目標値(A)	1000000	1000000	1000000	1000000
		実績値(B)	782174	960346	924807	到達目標値
		達成率(B/A)	78.22%	96.03%	92.48%	平成22年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
市調査及び観光動態調査による観光客数						

事務事業の評価		妥当性の評価	効率性の評価	有効性の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	妥当性評価 <A-E> C	効率性評価 <A-E> C	有効性評価 <A-E> C
	市民ニーズ						
効率性の評価	コスト						
有効性の評価	目的達成度						
	市民参画度						

留意事項の目的やその数値目標を評価して下され

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明									
	観光PRに努めるとともに、各種調査により観光客の増加の方策を見出そうとしている。広域連携や定住自立圏等観光発信も視野に入れ更なる誘客に努める必要がある。								

総合評価		評価区分	妥当性
観光産業は市の基幹産業であり、市の活性化のためにも今後とも力を入れていく必要がある		<A-E> C	

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標									
	今後も観光PRの推進について、各メディアの活用や広域連携、インターネットの有効活用を努める。								